

この記事・写真は岩手日日新聞社の許諾を得て転載しています。

自転車通学、安全に

花北青雲高をモデル指定

花巻市石鳥谷町の県立花北青雲高校(小原和雄校長、生徒495人)で16日、市交通安全対策協議会(会長・上田東一市長)などによる2016年度自転車セーフティーリーダーモデル校指定書交付式が行われた。指定



花北青雲高への自転車セーフティーリーダーモデル校指定書を折居課長(右)から受け取る木村さん

(3年)が市市民生活部の細川祥部長から自転車に施錠するセーフティーワイヤロックを受け取った。

生徒を代表し、木村さんが「花北青雲では全校生徒の約半数が自転車を利用して通学している。一人ひとりがマナーについて今一度意識を高く持ち、交通事故ゼロを目指したい。きょう頂いた鍵

で防犯にも取り組み、地域の方々の手本になりたい」と決意を語った。

自転車セーフティーリーダーモデル校は、児童生徒の自転車利用に関するルール順守とマナー向上を図るため、市交対協と市防犯協会、同署が連名で市内小中高校から数校を指定している。今年度は矢沢、湯本、南城の3中学校と花巻農、花北青雲の2高校の計5校で、交付式は17日の南城中が最後となる。